

平成 22 年度第 3 回海老名環境審議会議結果

日 時：平成 23 年 3 月 18 日（金） 13：30～15：15

場 所：市役所 附属棟 D 会議室

出席者：委 員：木内会長、伊藤副会長、白石副会長、松本委員、安彦委員、渡邊委員、
森田委員、吉岡委員、吉田委員、勝田委員

事務局：瀬戸部長、井上次長、岩壁課長、岡田係長、武井主査

資源対策課：大澤課長

傍聴者：なし

新規委員への委嘱状交付 内野市長

1 開会（進行） 事務局

2 市長あいさつ 内野市長

3 月 11 日の午後 3 時前に地震が発生し、幸いにも海老名市内においては、大きな被害はありませんでした。

姉妹都市である白石市の災害状況を確認したところ、食料不足であり、1500 人以上が避難しているとのことでしたので、パンや米などの物資を、12 日午後 5、500 食を輸送しました。その後、追加で物資を輸送し、現在までに第 5 次まで行いました。

当初、1500 人いた避難者も今では 600 人になったと聞いておりますが、福島県からの原発避難者の受け入れも始まっているようです。

東電の計画停電に伴う情報が錯綜し、一時混乱を引き起こしましたが、ようやく情報も把握できてきたので、その情報配布をシルバー人材へ依頼するとともに、小中学生にも自宅近所の高齢者宅などへ配布していただくようお願いしました。依頼数は 3 万件をお願いしました。

計画停電については、テレビなど報道機関でも出ておりますが、不明なところがあれば、市に問い合わせさせていただきたいと思います。市民の生活が不安のないようにしていきたいと思います。

まだ、余震が発生しておりますが、全職員を総動員して対応しておりますので、各団体の皆さまからの協力もいただきたいと思います。

海老名市では、福島県民の受け入れを公表しました。有事の際でも、福島県の方も含めて、みんなで協力しながら生活できるようにしていきたいと考えております。

市職員も毎日頑張っておりますので、皆さまのご協力もお願いしあいさつに代えさせていただきます。

3 会長あいさつ 木内会長

市の本部長として一生懸命やってもらっていることがよくわかりました。予想もつかない災害が発生し、大変だと思います。

被災された方々には、1日も早い復興を願っているところでございます。

それでは、議題を進めてまいりたいと思いますので、委員の皆様にはいろいろとご意見をいただきたいと思います。

事務局：委員過半数出席により会議は成立です。

4 議 事（海老名市環境審議会条例第7条第1項に基づき会長が議長）

（1）新規に審議会が調査審議する事項について

①えびな環境大賞にかかる審査及び選考について

経済環境部より資料に基づき説明（資料参照）

（質疑等）

議長：このことについて、何かご質問のある方はどうぞお願いします。

委員：募集期間を含めて、その他のスケジュールはどうなっているか。

経済環境部：既に発行されている3月15日号の広報えびなにより市民向けの周知を行っております。4月1日から応募を受け付け、環境政策課で取りまとめを行い、5月に審査をお願いしたいと考えております。その後、市政議会に上程して、6月の開催予定の環境フェスティバルの中で表彰式を実施したいと考えております。

委員：選考方法について、賞の基準をどのように考えているのか。

経済環境部：部門分けをすれば分かり易いと思いますが、今回については部門分けをせず、トータルでみることにしました。

申請書の中の項目について、点数化することも一つの手段かと考えておりますが、審査がスムーズになるように進めてまいりたいと思います。

提出いただく申請書に資料を添付していただくこととしております。また、実際に活動状況を確認することも考えております。

委員：審議会委員全員でなくても代表者だけでも実際に見に行くことが必要ではないか。

または、プレゼンテーションをしてもらうことも必要と思われる。

経済環境部：審議会委員の皆さまには、過負担とならないような審査をお願いしたいと考えております。えびな環境大賞については、広く表彰し環境意識への向上を図ってまいりたいと考えております。

委員：何か具体的な申請事例などあれば提供してもらいたい。

経済環境部：企業については、製品管理などになると思う。例えば、ISO9000とか14001

など地球に負荷を与えない製品への取り組み。農業については、減農薬などの作物栽培などが対象となるのではないかと。また、一般家庭においては、生ゴミなど水切りせずに排出すれば、焼却するのに大変であるが、そのことについての自治会や地域の取り組みや「えびなの森創造事業」を支えている団体や組織など環境保全策に取り組んでいる方々も対象と考えております。

委員：自薦・他薦となっているが、自治会などに推薦依頼をすることはあるのか。

環境政策課：現段階では自治会への推薦依頼は予定しておりません。

委員：緑化推進協議会など他の機関でも表彰をしているが、ダブル受賞についての取扱いはどうなっているか。または、一括してえびな環境大賞で表彰するなど考えられるか。

経済環境部：所管である公園緑地課では表彰と助成金交付のソフト事業を行っております。ダブル受賞というよりそこに入ってこない部分も拾えたらと考えております。えびな環境大賞はステップ表彰ではないので、ダブル受賞でもよいと考えております。

委員：表彰して各団体に周知をしていくことは必要と考える。多くの方に対して、奨励していった方がよい。ダブル受賞もよいのではないかと思う。表彰することによって、波及効果を期待できるので、必要なことだと思う。

議長：これまでの意見をまとめ、よりよい大賞となるようお願いいたします。

(1) 新規に審議会が調査審議する事項について

②平成 23 年度美化ポスターの二次審査について

資源対策課より資料に基づき説明（資料参照）

資源対策課：美化ポスターの審査については、10月を予定しております。募集したポスターは美化推進運動の一環として公共施設に掲示しております。今年度までにおいては、一次審査を市職員で行い、二次審査を海老名市廃棄物対策推進協議会（廃対協）をお願いしておりましたが、廃対協が今年度を以って廃止となるため、次年度からの二次審査を環境審議会をお願いしたいと思っております。

応募は、例年 1000 点前後あり、一次審査で 100 点ほどに絞ります。二次審査により、美術協会と審議会の皆さまの審査で各学年ごとに金賞・銀賞・銅賞を選考していただきます。11月に表彰式を予定しておりますので、委員の皆さまにもご出席いただけたらと思っております。

今年の応募数は 900 数十点で、テーマはポイ捨て、マイバッグ、分別の 3 テーマに分けております。美術協会よりポスターとしての選考のポイントの説明がありますので、それをおさえた上で皆さまに選考していただきたいと

考えております。

委員：各学年で各賞を選考とのことだが、100点を超えるとなると審査も大変だと思う。

ポスターということであるので、美術的要素が高いと思われるが、環境審議会としては、環境の目で見ることになると思うので、選考の基準を考慮していただきたい。

委員：健康づくり推進協議会でも同じような選考をやっている。そんなに多くの応募はないが、規定があって、それをクリアしたものの中から選考する。

資源対策課：小学校1年生から6年生と中学校1年生から3年生の9部門であるが、中学校については1年生から3年生で1部門としています。1部門で20点ぐらいの中から選考していただきます。

委員：基準をはっきりしておいてもらえばいいのではないか。あまり細かい規定は必要ないのではないかと思う。

資源対策課：選考については、美術協会から「ポスター」としてのポイントを示されますので、あとは皆さんで選考していただきます。細かい縛りは設けておりません。

議長：いろいろご意見がありましたが、他に質問がないようであれば、次の議題に進みたいと思います。

(2) 報告事項・・・事務局説明

①電気自動車に関する施策の実施状況について（資料1）

②環境保全対策支援事業の平成22年度実績及び平成23年度予定について（資料2）

①電気自動車に関する施策の実施状況について

委員：車については、特に問題はなし。問題は、価格が高い。充電池の問題が解消すれば、価格の問題も解消されてくる。

委員：一般市民への貸付事業は予定しているのか。

事務局：現段階では、予定しておりません。アンケートの結果、普及するためには、低価格化、性能向上、インフラ整備の充実が必要との意見が多いため、今後については、公用車としての利用促進を図り、多くの市民に電気自動車をPRしながら環境啓発を図っていきたいと考えております。

②環境保全対策支援事業の平成22年度実績及び平成23年度予定について

委員：平成21年度と平成22年度の補助対象を見ると、件数が少ないから対象からはずすとすると、益々、普及しなくなると思う。

事務局：件数も検討の一つではあるが、それだけではなく、導入経費についても検討しており、トータル的な判断から除外しております。

今後の状況を見ながら新たなメニューの追加や除外したメニューを復活すること

もあり、柔軟に対応していきたいと考えております。

5 その他について

事務局：今後の審議会の開催については、えびな環境大賞の審査をお願いする関係で、5月に開催する予定でございますので、よろしく申し上げます。

6 閉会 伊藤副会長あいさつ

大変な状況の中、お集まりいただきましてありがとうございました。市長のあいさつの中で、3月・4月のイベントが中止となるなど、大変な中ではございますが、みなさんで力をあわせてやっていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

本日は、ありがとうございました。

事務局：本日はありがとうございました。これにて、第3回環境審議会の閉会とさせていただきます。